



凡事徹底

内子中学校長 西本 晃

参観日(授業参観・学年PTA・PTA総会等)お世話になりました

保護者の皆様には、参観日にお越しいただき、ありがとうございました。生徒が真剣に授業に取り組み、学びに向かう力が高まっていくことを予感していただけただけでしょうか。

確かな学力は、健やかな体、豊かな心とともに、生きる力の柱となる重要な資質であり、進路決定に向けても必要不可欠なものです。教職員もタブレット端末や電子黒板を有効に活用した授業力向上に取り組んでいきます。御家庭でも、生徒への声掛けや見守りなどの御協力を引き続き、よろしくお願いいたします。



PTA総会の中で、今までPTA役員として御尽力いただいた卒業会員の役員さんに感謝状が渡されました。今まで、本当にありがとうございました。これからは地域の一員として、是非ともお力添えください。

また、学級・学年PTA、PTA総会ともに、積極的に役員さんが決定され、お陰様で、今年度のPTA活動を無事スタートさせることができました。今年度

も、制限されることがあるかもしれませんが、確実にできることが増えると予想されます。どうか、今後とも温かい御支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

なお、PTA総会の中で、学校の教育活動に対する御意見がありました。今後も、届けられた意見に対しては、教職員やPTA役員さん等と慎重に検討し、必要である（実施した方がいい）と判断した場合は、前向きに取り上げ、実施していきたいと思っております。御理解・御協力をお願いいたします。

今年度も挨拶の自慢できる学校に(凡事徹底の柱)

私の本校での勤務が4年目を迎えています。ここ数年、校内や地域で、内中生の明るく元気な挨拶が飛び交い、保護者の方はもちろん、地域の方や観光客の皆さんからのお褒めの言葉が多数届いています。挨拶は、心の潤滑油であり、人と人を繋ぐ大切な生活マナーだと思います。引き続き、凡事徹底の大きな柱として、挨拶の自慢できる学校を目指し、頑張っていきたいと思っております。今年度も、御家庭での挨拶の励行もよろしくお願い致します。

教職員のつぶやきコーナーより

今年度も、職員室前のホワイトボードに「教職員のつぶやきコーナー」を作り、いろいろな思いを伝えていきたいと思っております。先週、書いたものを紹介します。

いよいよ、令和5年度が始まりました。今年度の学校教育目標も、「自ら考え行動する生徒を育てる」です。また、合言葉は「凡事徹底」（当たり前のことを人がまねできなきくらい非凡に行う）です。

そのために、大切にしてほしいことがあります。それは・・・。

「向き不向きより 前向き」、「『私は』ではなく 『我々は』を考える」

「成功するコツは2つ。それはコツコツ。」ということです。

昨年度同様に、この考え方を生徒・教職員全員が意識し、行動してほしいと思っております。

そして、3年生をトップリーダーに、授業や部活動、学校行事などに、本気になって取り組み、自分たちが通いたいと思える学校を作り上げてください。

きっと、皆さんのその姿は人の心を動かし、保護者の方が通わせたい、地域の方が応援したいと思う学校になるのではないかと思います。全員が力を合わせて新たな歴史と伝統を築きましょう。先生たちも、そのために全力で支えていくことを約束します。

家庭訪問について

家庭訪問は、学級担任と保護者の皆様との信頼関係を築き、積極的に連携を図る上で、とても重要な行事だと考えています。

そこで、すでにお知らせしたとおり、家庭訪問を実施したいと思います。ただ、感染防止対策のために、**玄関先等で、短時間で行わせていただきたいと思っております。お茶を出していただくなどのおもてなしは、必要ありませんので、学校で気を付けてほしいことなどのお話をお聞かせください。**